

令和4年度事業報告

1、伊勢志摩エコツアーリズム推進の広報事業

(1) 2023年版カレンダーの制作

国立公園指定60周年に作成したウォーキング冊子「ウォーキング60」を基に、平成29年からウォーキング講座（中日文化センター主催）の講師を行ってきました。その際、撮影した伊勢志摩の絶景を集めて卓上型カレンダー第3弾として制作し、伊勢志摩のPRを兼ねて鳥羽ビジターセンター、横山ビジターセンターなどで販売し、また会員に配布しました。タイトルは、伊勢志摩海岸線物語「伊勢志摩Walking」 カラー13枚綴り計200部を制作しました。



2023年版・卓上カレンダー 中日新聞掲載記事

(2) ホームページからの情報発信

伊勢志摩の魅力をホームページで情報発信することで、観光客増員をめざし、かつ自然環境保全の一役をにないます。特に、ブログ「しげじいの佐田浜日記」ではエコツアー、エコウォーキングを紀行文にして紹介しました。

(3) 写真データの提供

伊勢志摩サミットポスターに使用された伊勢志摩の空撮データなどの提供を行いました。 ※令和4年度は4件。

2、鳥羽ビジターセンターの運営

(1) クラフト教室の開催・・・

○ 夏期

(7月30日、31日、8月6日、7日) 参加者合計82名

○ 冬季「クリスマスキャンドル作り」

(11月27日、12月4日、11日、17日、18日)

参加者合計93名



クラフト教室制作風景と作品

(2) 来館者に対して伊勢志摩の解説と観光案内

コロナ禍で減少した観光客が少しずつ回復する中、鳥羽マリンターミナルのお客様も戻りつつあります。また3月9日には久々に大型客船ダイヤモンドプリンセスが入港しアメリカ人を中心におよそ2,500人の観光客で賑わいました。一方、鳥羽マリンターミナルでは館内と周辺でのイベントに力を入れていて、キッチンカーやマルシェなどの販売や音楽イベントを開催したことで観光客以外のお客様も増加したように感じます。そのため、鳥羽ビジターセンターに設置されたパンフレット類も大いに活用されました。また、相乗効果として冊子「歩いて伊勢志摩」や「伊勢志摩ウォーキング60」、復刻版ポスターや絵はがきなどの売れ行きは、移転以前より増えています。

3、伊勢志摩国立公園自然ふれあい事業（エコツーリズム・エコツアー促進事業）

国立公園内のウォーキングと地域の食材を味わうことで、参加者に伊勢志摩の魅力を感じていただき、伊勢志摩の自然を守ることの大切さを広め地域振興に役立つことを目的としたエコツアーを計6回実施しました。

尚、エコツアー事業には、「みえ森と緑の県民税」のご協力を得ました。

	名称、開催日	場所	参加総数	特記事項
1	「御塩浜と御塩殿神社を巡る」 9月24日	伊勢市二見町	6名	自主企画
2	「海女さんふれあい体験ツアー」 10月1日	鳥羽市菅島	7名	島の旅社共催
3	「平家の里エコツアー」 11月27日	伊勢市矢持町	13名	竜ヶ峠を守る会共催
4	「青峯山を巡る」 12月3日	鳥羽市松尾～志摩市磯部町	9名	自主企画
5	「御座金毘羅山と英虞湾を巡る」 1月29日	志摩市御座	20名	横山ビジターセンター共催
6	「冬の南伊勢町ウォーキング」 2月27日（集合後雨天中止）	鵜倉半島	11名	



二見「御塩浜と御塩殿神社を巡る」



菅島「海女さんふれあい体験ツアー」



矢持「平家の里エコツアー」



松尾～磯部「青峯山を巡る」



御座「御座金毘羅山と英虞湾を巡る」



鵜倉半島（雨天中止）

4、清掃活動事業（国立公園グリーンワーカー事業）

ボランティア団体の協力を得て、各地域での清掃活動を行い、自然環境の保全、整備に役立たせます。

伊勢市——飛滝林道、二見神前海岸、二見浦海岸(賓日館周辺)

鳥羽市——鳥羽駅前佐田浜一円、答志地区

志摩市——おうむ岩周辺、天の岩戸周辺、御池周辺、渡鹿野島周辺、安乗岬、国府白浜、阿児の松原、宝門の浜・須場の浜、船越前浜、御座金比羅山、布施田ふれあい公園、大矢浜海岸、黒崎海岸

南伊勢町——相賀浦ニワ浜、中津浜浦海岸、礪浦ニワの浜・台場の浜、宿田曾漁港、鵜倉園地（みそねの浜）

5、自然ふれあい環境展など

・「鳥羽クラフト展」

全国から多くの芸術家・工芸家が鳥羽に集合し、工芸作品の展示と即売会を行う「鳥羽クラフト展」は、10月8日～9日の2日間、新しく人気のキッチンカーも加わり賑やかに開催されました。当協会は伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会の協力を得て本年も参加。「貝殻を使った螺鈿細工」などの体験を行い、子供を含む多くの方に楽しんでいただきました。





6、「Happy Birthday! 伊勢志摩国立公園」 11月18日

本年は「Happy Birthday!伊勢志摩国立公園」イベントを始めて5年目となります。本年の「石原円吉賞」の表彰式は、新型コロナウイルス感染対策をとりながら、鳥羽市長、議長、副議長をはじめおよそ40名の観客が見守る中で昨年と同じ鳥羽マリンターミナル2F 交流ラウンジで開催しました。初日11月18日には「第5回石原円吉賞」の表彰式と記念講演、2～3日目はイベントとして二つの「クラフト教室」を開催しました。会場の三面がガラス張りで、絶景の鳥羽湾に囲まれ、加えて、本年度の「石原円吉賞」受賞者の奥野拓也の写真展「パノラマ大湊」を開催して晴れやかな表彰式となりました。

受賞者・奥野拓也氏のスピーチで「豊かな自然体験をしてきた子は、大きくなったら自然を大切にできる大人に育つ」とのくだりでは、会場の多くの方が頷いていました。

記念講演は、三重大学大学院生物資源学科研究科教授・松田浩一氏による「伊勢志摩地域における藻場の現状と漁業生産について」でした。講演の中で「黒潮の大蛇行が沿岸の藻場に影響を与えている」と警鐘を鳴らされました。

そして、2日目、3日目のクラフト教室は、指導する先生や参加された子供たちも大いに楽しみ、また伊勢志摩の海岸から集めた石や貝殻などの天然素材の面白さに興味を持ったようです。参加者合計が2日間で60名となり、開催場所としての鳥羽マリンターミナルの集客力を感じました。

受賞者及び団体

【石原円吉賞】 ◆ 奥野 拓也 氏 (伊勢市)

《注》【石原円吉賞・特別賞】は、該当者なし

・・・別紙「Happy Birthday! 伊勢志摩国立公園」事業報告参照



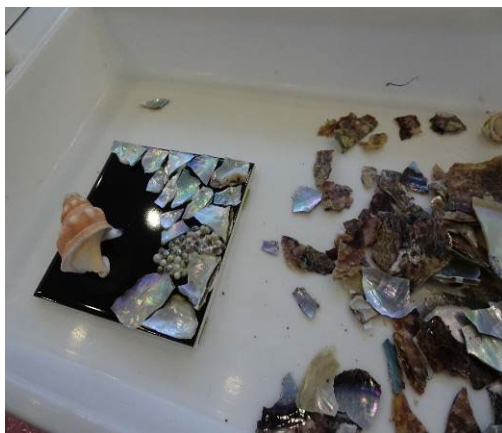
松田浩一氏記念講演会場風景



表彰状授与（山本会長から奥野氏へ）



記念撮影 奥野氏（左から2番目）と山本会長（前列右端）



「螺鈿細工で遊ぼう」



「石のお絵描き」制作風景と作品

7、伊勢志摩国立公園エコツアーリズム推進協議会
総会やガイド研修などに参加しました。

8、中日文化センター主催の「伊勢志摩ウォーキング」に講師派遣
中日文化センター（津）の講座の一つ「伊勢志摩ウォーキング」の講師を
務め、計12コースを実施しました。 ※H30年より5年間、全50コース。



志摩市・和具を巡る



鳥羽市・坂手島



伊勢市・外宮～内宮



鳥羽市・石鏡～国崎



南伊勢町・馬山



志摩市・渡鹿野島



伊勢市・神前海岸



志摩市・的矢



伊勢市・五十鈴川沿い



鳥羽市・菅島大山



伊勢市・朝熊山宇治岳道



南伊勢町・鵜倉半島

9、その他関係事業及び会議への出席。

- ①伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会
- ②伊勢志摩観光コンベンション機構
- ③伊勢志摩学生団体誘致委員会
- ④三重県観光連盟
- ⑤鳥羽市エコツーリズム推進協議会
- ⑥海上保安協会鳥羽支部
- ⑦伊勢志摩国立公園地域協議会
- ⑧鳥羽市立海の博物館主催の伊勢志摩国立公園指定75周年記念
「伊勢志摩国立公園フォトコンテスト」に協力。入選作の展示。